

# 教員採用試験の現状①

令和5年度第2回福島県総合教育会議資料  
 令和6年2月26日 義務教育課  
 高校教育課  
 特別支援教育課

## ○令和6年度教員採用候補者選考試験の結果について

令和6年度全体の倍率は2.8倍で、昨年度より0.7ポイント減少。中学校の採用数を増やしたことに加え、受験者数の減少が主な原因。

新たな取り組みでは、特別選考 I (教職経験者特別選考)における一次試験免除において受験者数が20名以上増加。

### 受験者数・合格者数・倍率 ※( )は昨年度の結果

項目・種別	受験者数	合格者数	受験者数／合格者数
小学校	391(421)	318(297)	1.2(1.4)
中学校	594(630)	173(127)	3.4(5.0)
高等学校	415(451)	53(47)	7.8(9.6)
特別支援学校	145(174)	43(47)	3.4(3.7)
養護教諭	175(182)	22(19)	8.0(9.6)
合計	<b>1720</b> (1858)	<b>609</b> (537)	<b>2.8</b> (3.5)

### 今回新たに実施した主な取り組みと成果

○特別選考 I における一次試験の免除  
 受験者 93名(R5) ➡ **116名(R6)**

23名増加

○大学推薦特別選考の導入  
 受験者**54**名 合格者**52**名

○小学校における特別支援学級枠の設置  
 受験者17名 合格者12名

○教科「情報」(第二志望)との併願  
 受験者6名 ※全員第一志望で一次を通過

○「福祉」及び「書道」の受験資格の緩和  
 福祉受験者 1名(R5) ➡ 2名(R6) ※書道の募集なし

## 教員採用試験の現状②

### ○採用試験を取り巻く課題について

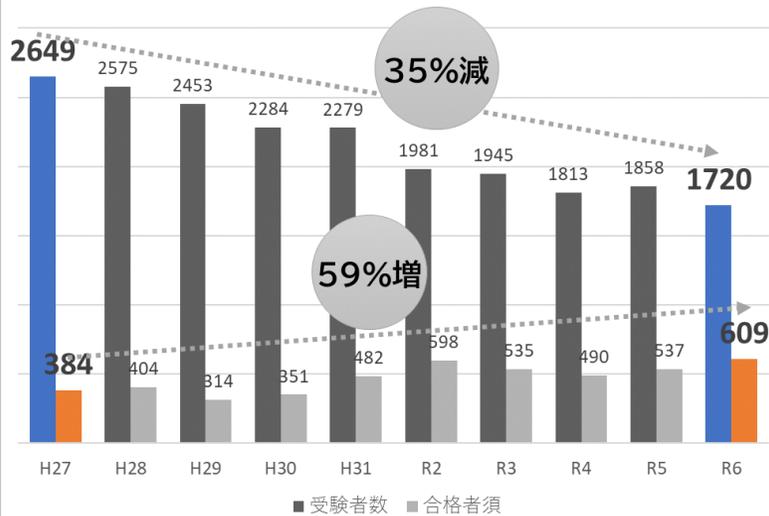
受験者が減少し倍率が低下すると、不合格者が減少し講師登録者が減少する。  
講師登録者が減少すると「教師不足」という形で学校現場に負担がかかる。

令和5年度第2回福島県総合教育会議資料  
令和6年2月26日 義務教育課  
高校教育課  
特別支援教育課

受験者数を増やすためには、働き方改革による労働環境の改善も必須。

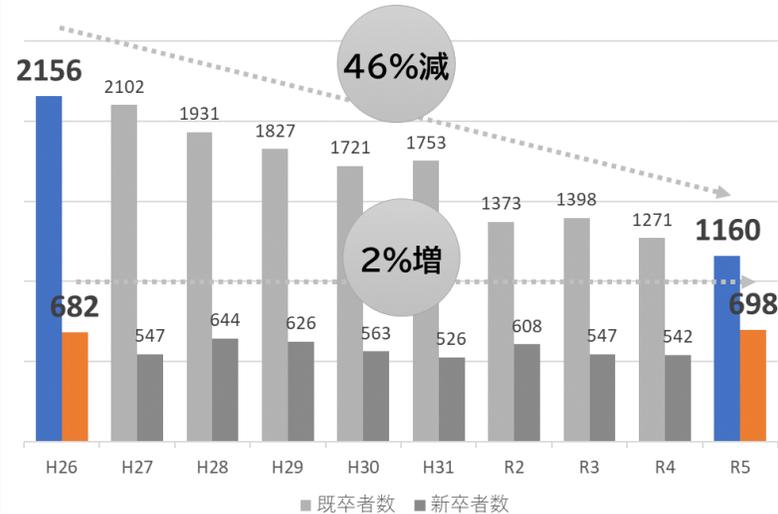
#### 受験者数は減少、採用者数は増加

平成27年度と比べると、受験者数は35%減少、合格者数は59%増加



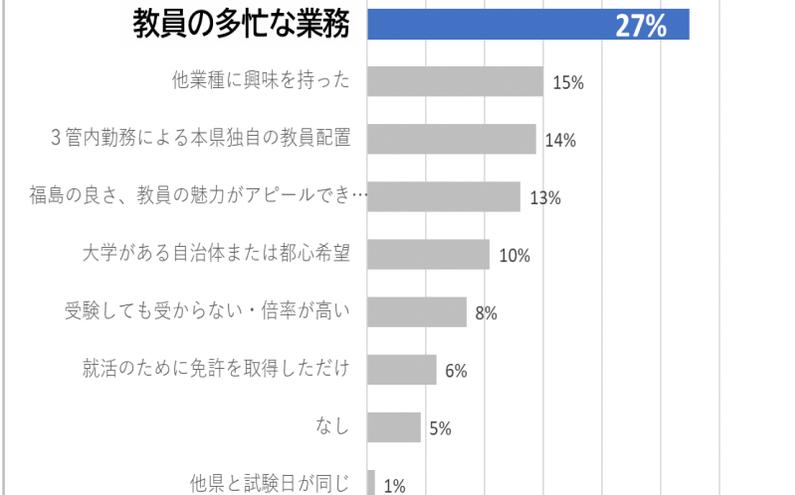
#### 既卒者の受験者数が減少

平成26年度と比べると、新卒者数は横ばい、既卒者数は46%減少



#### 「教員の多忙な業務」との回答が最多

志望しない主な理由が「教員の多忙な業務」にあると思う割合が27%



免許取得者が本県の教員採用試験に挑戦しない理由  
令和5年度採用試験に合格した424名を対象にアンケートを実施。有効回答153名。

## 教員採用試験の現状③

令和5年度第2回福島県総合教育会議資料  
令和6年2月26日 義務教育課  
高校教育課  
特別支援教育課

### ○教員人材の確保策

教員人材を確保するため、効果的な方策を今後も検討していく

#### R5採用まで

##### ○優れた教員の確保

- ・特別選考Ⅰ(教職経験者特別選考)
- ・特別選考Ⅱ(臨時的任用職員等経験者特別選考)
- ・特別選考Ⅲ(スポーツ・芸術等特別選考)
- ・特別選考Ⅳ(社会人経験特別選考)

##### ○広報活動

- ・大学説明会、採用案内動画の作成、ペーパーティーチャーのための相談会、ポスター、チラシの配布

##### ○優遇措置

- ・昨年度二次試験受験者に対する一次試験免除
- ・一次試験における教職教養の免除(特別選考Ⅱ)
- ・加点制度(英語検定等、情報免許、小中複数免許)
- ・大学院進学予定者、在籍者の名簿登載猶予
- ・地域採用枠(奥会津、相双)の設置

##### ○併願制度の導入

- ・小中併願、中高併願、特別支援学校との併願



#### R6採用(本年度)

##### ○大学推薦特別選考の導入

- 特別選考Ⅰにおける一次試験の免除
- 小学校における特別支援学級枠の設置

##### ○教科「情報」との併願

- 「福祉」及び「書道」の受験資格の緩和



#### R7採用(予告)

##### ○司書教諭資格を有する者への加点の導入

- 複数免許加点における条件の追加 等